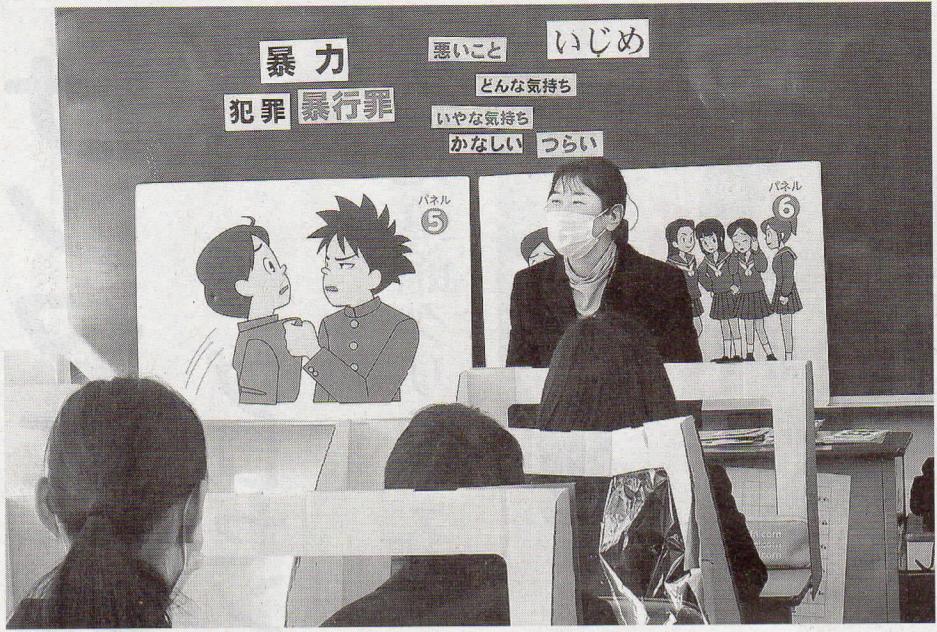


講師を務めた阪本さん



新宮市立城南中学校で21日、和歌山県警本部生活安全部少年課の阪本鈴代さんら2人を迎えて、1年生45人を対象とした「キッズサポート」の授業があった。いじめについて考える機会として、毎年実施している。生徒たちは積極的に手を挙げるなどし、授業に参加した。

次いで、スマホのSNSについての講話があった。LINEなどSNS上の誹謗中傷（ひぼうちゅうしょく）には「名誉棄損罪」などが適用されることを学習。また、写真など個人情報が流出するものには載せてはいけないなどの講話を聞いた。

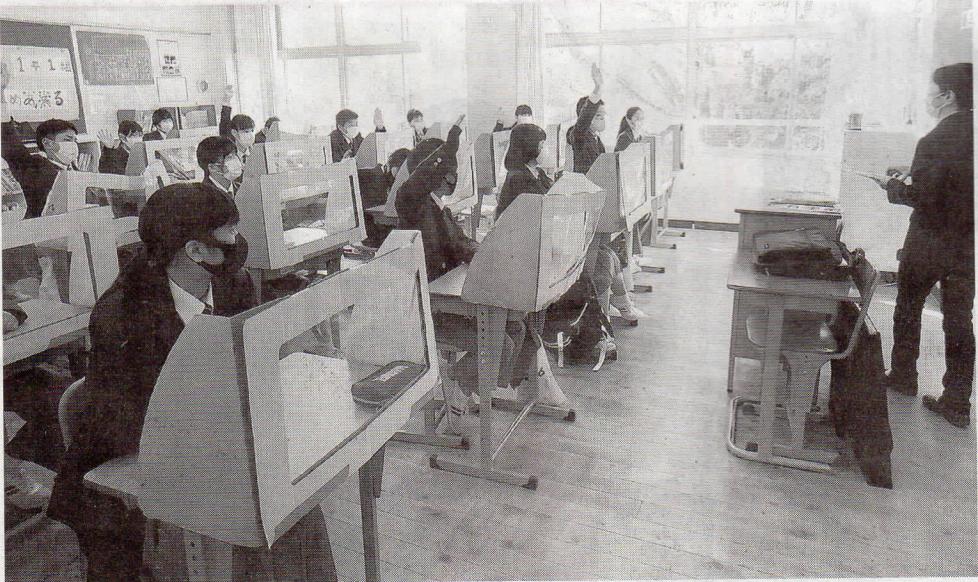
県警本部から講師迎え

最後は少年事件（犯罪少年・触法少年）処理の流れを聞き、罪を犯すとどのようなことを認識した。

阪本さんはキッズサポートに対して「子どもたちに伝えていくことで思いやりの心を持つてもらい、健全な大人に成長してほしいという気持ちで取り組んでいる。立派な大人になってもらいたい」と話した。この授業は和歌山県全域で行われている。

（石垣さやか）

思いやりの心大切に 城南中で「キッズサポート」



授業に積極的に参加した